



社会福祉法人 三善会

〒795-0046 大洲市春賀甲1688番地

●障害者支援施設 大洲ホーム
●大洲・内子・八幡浜市障害者相談支援事業
●デイサービスセンター 春賀
●在宅介護支援センター 春賀
●訪問ケアステーション 春賀
●グループホームはるか
●介護タクシー 春賀
●2級ヘルパー養成事業
●グループホーム春の風

TEL (0893) 26-1216

FAX (0893) 26-1217

ホームページ

<http://www.ecomnet.or.jp/~ohzuhome/>

メールアドレス

ohzuhome@ecomnet.or.jp

四季報

はるか

2017. 1月 No.120



新年ごあいさつ



理事長

渦尻敬治郎

明けましておめでとうございます。

皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

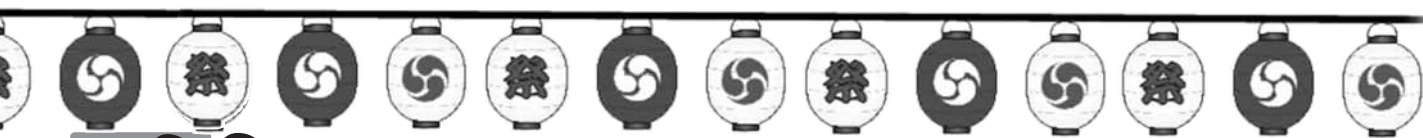
昨年は温かいご支援ご協力を賜わり誠にありがとうございました。

本年は社会福祉法が改正され法人経営は次の4点が改正されて、大きな柱となって参ります。

- ① ガバナンスの強化
(法人の事務処理体制の強化)
- ② 経営情報の開示
- ③ 財務規律の強化
- ④ 地域における公益的な取組

私共は地域のニーズに即した福祉サービスを提供し、目に見える形で地域貢献に取り組んで参ります。

本年もどうぞ、よろしくお願い申し上げます。



祭

厳島神社大祭は秋日和に恵まれて御神輿・3部落の獅子舞共演・宇山の古芸が次々と大洲ホームに立寄って下さり盛り上りました。
特に多目的ホールでの雄・雌の獅子舞はすごい迫力で心を打たれました。

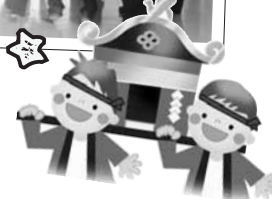
(生活支援員 入澤 葵)



たかしよ
お旅所での
獅子舞の奉納



子供神輿も
威勢よく!
(大洲ホーム
多目的ホール)



御神輿様の
お成り!!
(大洲ホーム玄関)



勇壮なダイバ
ンと利用者のスキ
ンシップ★



集う場所をはるか

「この一年を振り返って」
ケアマネージャー 中岡 越子
みよしかい
三善会のエリアにお住まいの
高齢者の健康相談や仲間作りを
目的に集う場所をはるかを立ち上げ
て一年が過ぎました。



軽い健康体操

参加者の白石さんがこの一年を
こう総括されました。

「自分のことができて、少しは
他人様のこともお手伝いができ
て、大勢のお友達とお会いでき
る...そして次の月の日の来るの
を心待ちにする...」
月一の友と集いし楽しみを心
待ちする来る月の日を

白石志真子

人とのふれあいは若さを保つ秘
訣でもあります。回を重ねる度

行事を通して

三善保育所 所長
東 房恵

去る11月2日（水）保育所行事の一環として4・5歳児のみの少人数ではありましたが、お神輿持参で（送迎してもらいましたが…）お邪魔いたしました。子ども達も大好きな「みきゃん」をかついで

「わっしょい！
わっしょい！」

と、施設内を歩かせていただき、ホールでは鳴子の踊りも披露させていただきました。利用者の方々や職員の方々の温かい拍手と、子ども達を見つめる優しい眼差しに、心ほっこり。

今後も様々な行事を通して皆さんに可愛い子ども達の笑顔とパワーを送りたいと思っていますので、よろしくお願いします。



宇山部落の古芸が披露されました。

集合場所はるかご案内

日時	1月8日（日） 13:30～	2月5日（日） 13:30～	3月5日（日） 13:30～
場所	デイサービスセンター春賀	デイサービスセンター春賀	デイサービスセンター春賀
内容	健康チェック レクリエーション 茶話会 講話 （睡眠について）	健康チェック 節分行事 茶話会 講話 （昔から伝わる地域の風習）	外出行事 （フレッシュパークからりへのショッピング）

今後も皆さんの声を大切にして、地域交流の場を育てていきたいと思っています。



お菓子作り

に参加者から「楽しかった！」「また来月ね！」の声に、このサロンが春賀の地に定着していけることを実感しています。

10月
2日

ふれあい タイムに参加

生活支援員 小谷 遥

大洲市ボランティア連絡

協議会のふれあいタイムが大洲児童館で開催され、利用者が参加しました。



ふれあいタイムに参加

子供達からお年寄りまで大勢の参加があり、かるたゲーム、読み聞かせ、人形劇、手話コース等々で交流しました。
今後もこういった行事に積極的に参加して沢山の友達とふれあえる機会を作っていきたいと思いました。

10月
27日

「魚釣り」

利用者 大澤 亮

利用者6名と職員3名、利用者家族2名とボランティア3名で魚釣りに出掛けました。今年はいつもの場所とは違い「八幡浜」という所に行きました。

車を降りると、すぐに海の香りがして、とても気持ち良かったです。早速、釣りを始めるとすぐに大きなサバが釣れました。今年は30匹以上釣れて大漁でした。

外で食べるお弁当も美味しくて、利用者・職員みんなが笑顔でした。また行きたいと思います。

投げし浮き動き待ちたる秋の海

平高浩二



八幡浜へ魚釣り

肱川あらし

展望公園へ

利用者 兵頭 悌司

世界的にもめずらしい冷気に霧を伴った肱川あらしで有名な肱川あらし展望公園へドライブしました。

今日はお天気も良く、展望公園からは現役で最古を誇る長浜の赤橋も一望できて良かったです。

そしていい写真も撮ることができてハッピーでした。



肱川あらし展望公園で

地震・土石流想定

防災訓練

防災管理責任者 宗金 清一

三善地区自主防災代表祖母井玄様のご協力で地震・土石流想定での防災訓練が実施されました。



大洲ホーム玄関前での避難訓練

訓練後に大洲消防署の講評があり「ヘルメットの顎紐をしていなかった人がいた」等々の指摘を受けました。次の訓練時には、この教訓を生かしたいと思います。

11月
12日

周辺散策

生活支援員 平井秀樹

久しぶりの小春日和となったので周辺散策に出掛けました。お天気が良ければ布団干しと日光浴は大洲ホームに定着しています。

利用者はマン・ツーマンのサポートで新鮮な空気を吸って、晩秋の日光浴を満喫しました。



大洲ホーム周辺散策

歌を口遊み、一句も飛び出して気分爽快でした。心地よき秋は短かし空の色途中、地域の方とのふれあいもあり、地域で暮らす暖かさが伝わってきました。

11月
13日

市民の集いに参加

生活支援員 大野将寛

「平成28年度福祉と健康づくり市民のつどい」に利用者有志と参加しました。



市民の集いに参加

展示・即売コーナーでは、利用者が創作したストーンアート作品を出店・販売しました。

利用者は「いらっしやいませ！」と大きい声を出して作品の売り込みをしました。今年はストーンアートの「写真立て」がよく売れました。



ストーンアートの展示即売

家田荘子さん（作家）の記念講演も好評でした。

11月
22日

キウイ・フルーツ狩り

利用者 山本松義

大洲ホームの果樹園のキウイ・フルーツが食べ頃になったので利用者有志が収穫しました。

収穫したキウイ・フルーツは土の臭いがしました。触った感じはそんなにいいがなかったです。



利用者有志のキウイ・フルーツ狩り

収穫したキウイ・フルーツは厨房でリングと一緒に保管し、熟成するのを待って食卓に乗せてもらいます。

かまぼこ板の

繪見物

利用者 寺田聖子

第二十二回 全国かまぼこ板の

絵展覧会を見に行きました。

ギャラリーには国内外から寄せられた九千点以上の作品が展示されていてびっくりました。



ギャラリーしろかわ

大洲ホームの利用者さんが製作した「申年しんねんの年男・年女の絵」を見付けると、どの作品よりも上手にできていて感動しました。来年も新しい作品作りに挑戦したいと思いました。

☆ くりすます会 ☆

大洲ホームのクリスマス会は大洲ふじかげコーラスさんが毎年格調高い歌声を披露して下さいます。

そして、今年は家族会との共同作業で華やかな会場設営を行い、利用者を楽しませました。

食事会は調理員が早出をして
自慢料理を作ってもてなしました。



凛として！
指揮者の
白石美子先生



☆大洲ふじかけコーラスの格調高いクリスマスソング



踊りの名手の薬師神
さんの独壇場です！



☆家族会が男組・女組に分れて炭坑節を踊りました



☆家族会の皆さんも
クリスマスツリー飾り付け☆

柚子三昧

大洲ホームの果樹で黄色に熟したゆずの収穫をしました。収穫したゆずはゆず酢にしたり、ゆねりにして老人宅に届けたり利用者さんがゆず湯を楽しみます。



ゆず湯

職員有志のゆずしぼり

ゆず酢は、きれいに水洗いをして一個ずつしぼり機にかけて作ります。搾りたての黄色いゆず酢は、そのまま冷凍保存して調理用として使います。

手料理に一味そえるゆずしぼり

しぼり搾るたびにあたりはゆずの香りが一杯にひろがり豊かな晩秋を感じました。

亥の子 搗き

サブリーダー 清水 博 美

愛護班に見守られて和田地区の子どもたちが大洲ホームの玄関で威勢よく亥の子搗きをしてくれました。



亥の子搗き

子供達は新ワラでワラタボテを作り、大きい声で亥の子歌に合わせてワラボテを搗き、お家繁盛を祈ってくれました。

里山に響く童の亥の子唄

年々子供達が少なくなりますが、地域の伝統行事が跡切れないように応援したいと思っています。

利用者作品集

大洲ホーム文芸

谷本先生の俳句教室は、毎月1回開催されています。俳句はたくさん読んで、たくさん捨てるのが上達の秘訣と言われます。



谷本先生の俳句教室

杖と膝短くなりし秋遍路

高田 栄 作

金木犀香りは秋の気配かな

吉田 忠 士

朝早く今日も響くは稲刈機

池田 有 子

山々にみかん彩り美味しそう

寺田 聖 子

秋景色写す水面は鏡かな

植田 勝 芳

新米を食べて農家の苦労知る

吉田 忠 士

焼き芋で恥らう乙女減びつつ

高田 栄 作

背中より受けし秋日の呼ぶ睡魔

平高 浩 二

ニュートンのリンゴが開く宇宙かな

高田 栄 作

※宇宙開発をイメージした作品です

ボランティアいろいろ



道路清掃奉仕

全運転

職員 小林タツ子

きれいになった道路を皆さんが気持ちよく走れますように!!
ゆずりあうところにつなぐ安
たです。

「いつもきれいにしてくれてあ
りがとう」
と声をかけてくださり、ふれあ
うことができてとても嬉しかっ
たです。

地域清掃奉仕

訪問介護員 平井美栄

地方祭を前に、今年も三善会
グループの職員が地域清掃をお
こないました。一本杉から春賀
トンネルまでの道路沿いの草引
き、ごみ集めをしました。清掃
中に地域の方が、

10月27日 ブランケットミニコンサート

生活支援員 大下洋子

女性二人組によるブランケットさんのミニコンサートがありました。

童謡、唱歌等秋の歌や、ポップス、歌謡曲、演歌等幅広い年代の歌の選曲で、すばらしい歌、演奏で利用者の方達も一緒に歌ったり、手拍子をしたりして楽しい時間を過ごすことができました。

生演奏でいつもと違った雰囲気の中で迫力のある歌を聴くことができ利用者の方達も大変喜んでおられました。



ブランケットミニコンサート

合唱訪問

大洲東中生 信尾剛史

大洲東中学校最後の合唱訪問を大洲ホームで行いました。私達が作り上げた自信作の「信じる」を歌うのも最後になり淋しさを感じました。



東中の合唱訪問

利用者の皆様には温かい拍手を沢山頂いて嬉しかったです。

私達は東中のコーラスに誇りを持つと同時に皆様の応援に感謝しています。

新入者紹介



氏名：大黒 清

生年月日：昭和27年6月8日（64歳）

入所日：平成28年12月13日

本人より一言

「お世話になりますが、よろしくお願いします。」



名前：沖嶋 徹

生年月日：昭和37年4月20日（54歳）

本人から一言

入ったばかりで緊張しているけど、早く皆と仲良くなりたいです。

福祉文化の創造

人権集会に参加

生活支援マネージャー

須内由美子

東中学校の人権集会で渦尻理事長が「介護と今」をテーマに講演されました。東中の全校生を始め保護者、先生も真剣に聞き入っておられました。



渦尻理事長の講演

受講された生徒さんからは「介護職のイメージが変わった」「介護についてもっと知りたい」等々の感想を頂きました。
今回の講演を機に一人でも多くの方に「介護」について感心を持っていただければと思っています。

福祉体験学習

東中学校 旭 梓 歩

福祉体験学習で大洲ホームを訪問しました。初めての体験で緊張しましたが、あたたかく迎えて下さってすごくうれしかったです。午前中はボーリングや絵はがき作りなどをして利用者さんと交流をしました。



ボーリングゲーム

「裁縫」では、並み縫いした糸を利用者さんが引っぱるリハビリをしました。
利用者さんと呼吸があって上手にできました。今日は貴重な体験をさせて頂いてありがとうございました。

貴重な体験

京都大学 小 西 由 起



教職員免許取得のため、大洲ホームで五日間、ボランティアをさせていただきました。穏やかで、和やかな雰囲気と笑顔溢れる職員さん・利用者さんに囲まれ、充実した五日間を過ごすことができました。

様々な体験、人生を歩んでこられた利用者の方々と言葉を交わし、視野が広がったように思います。また、一人一人の状況に応じたきめ細やかな職員さんの対応に、
相手を思いやり尊重する姿勢を学ばせていただきました。この体験を今後、活かしてゆきたいと思います。お世話になった皆様、ありがとうございました。

第三者苦情処理委員会

サービス管理責任者

樋口圭介

第三者苦情処理委員会を多目的ホールで開催しました。

〈第三者委員〉

松田栗津小学校校長

渡辺三善地区民生委員

11月2日



第三者苦情処理委員会

この委員会は社会福祉法人三善会グループ8事業所の苦情やヒヤリハット・事故等を検討し第三者に情報公開する事でより良いサービス提供を目指すために、年2回開催しています。

また外部委員からのご助言を頂くことによって現場目線のみならず、違った角度で対策を検討しています。

◇◇◇◇◇◇◇◇ 処遇向上を目指して ◇◇◇◇◇◇◇◇

11/9~11

中・四国施設

職員研修会 in 徳島

サービス管理責任者 樋口圭介

中・四国身体障害者施設協議会支援員研修会が徳島市で開催され2名が参加しました。

今研修会は少人数で意見を出し合うグループワークを中心に展開され日々の業務の見直しや他施設の取り組みを聞いたりと有意義な時間となりました。



鎌田生活支援員と2人で参加

定期的に行われる研修会ですが、中国・四国ブロックの同じ仲間と仕事について語り合う良い機会だと思います。この研修で持ち帰ったものを現場の支援で役立てたいと思います。

中・四国研修大会 in 岡山

生活支援員 宇都宮 梢

第41回中四国身体障害者施設職員研修大会が岡山市で行われ5名が参加しました。

大会のテーマは「多様化する利用者に応える、安全と信頼が導く施設づくりを目指して」

記念講演の「バリアバリューの視点からユニバーサルな社会づくりを目指して」では私達の声掛け一つで様々な選択肢を奪っているのでは？と「言葉」の大切さと難しさ改めて考えさせられました。今後、この研修で学んだ事を現場だけでなく日常生活においても実行し、一人でも多くの人に広げてよりよい社会づくりをしたいと思います。





体験入浴

大洲ホームを見学して
三善小六年 矢野拳士
今回は、大洲ホームを見学させていただきありがとうございました。
僕は今回、入所されている方々のお風呂やお部屋を見学させていただきました。その人が持っている障害に合わせて、床で寝たりベットで寝たりしてもらっているの聞いて、介護する方々は、その方の事をしっかり把握しているんだと思いました。また、お風呂の見学では、車イスのまま入れるお風呂やベットのまま入れるお風呂があり、初めて見る物だったので驚きました。
今回の見学では、生活支援員さんの大変さを知りました。ありがとうございました。

9月5日 家族会の親睦会

生活支援マネージャー 須内由美子

大洲ホーム家族会の親睦会を大洲の鵜かい舟で行いました。



大洲の鵜かい舟

大洲の鵜かいは、皆さん初めてのご様子で川面から眺める大洲の景観や鵜かいショーを楽しまれ、会話が弾みました。

家族会は毎月第3日曜日に開催され、年間の行事計画に添って施設と家族会が協調して各種の行事を行い、利用者さんの満足度を深めています。

あゆが 鮎狩りに大洲の山河夜も青し

25年振りに訪問して

三恵ホーム家族会代表 奥村三千世

私が最初到大洲ホームを訪問したのは設立間もない時でした。

初代の渦尻施設長さんから開設迄のお話を伺いました。各新聞も朗報として掲載し、障害者側からも希望を頂きました。

施設は25年経過して、リフォームされた所もありましたが設立理念は現在も生かされていました。

2代目施設長との懇談会では家族会、利用者、施設が語りを通して行事をおこない、地域の協力も得られている事、福祉の豊かさを教えて頂きました。

このたびの訪問で家族会の役割を新たに確認させられ今後の取り組みの参考になりました。



三恵ホーム家族会の訪問

デイサービスセンター 春賀便り

新年ごあいさつ

デイサービスセンター春賀 所長



上満佐智子
新年あけまして
おめでとうございます。
旧年中は、皆様

より温かいご支援とご協力を頂き
まして、誠にありがとうございます。
ます。

お陰様でデイサービスセンター
春賀は、満21年目を迎えました。
利用者様が住み慣れた地域で継続
した生活ができるよう、私たちは
「一期一会」の理念を掲げ、お一
人お一人の利用者様と向き合い、
出合いを大切にしています。利用
者様の「笑顔」がスタッフの大き
な喜びです。「デイサービスに行く
のが楽しみ」と言って頂けるよう
な安心、安全な場所、事業所づく
りに今後とも一生懸命取り組んで
いきたいと思えます。

また、平成29年4月1日からは
介護保険が改正されて、総合事業
が実施され、比較のお元氣な高齢
者は「支援の受け手」だけではなく
「支え手」にもなつて地域で支
え合う仕組作りが始まります。
本年もどうぞよろしくお願いしま

紅葉ドライブ

介護員 都 サクラ

11月は紅葉ドライブに利用者有志と出掛け
ました。



もみじ狩り

ちょうど見頃だったもみじを見て、「キレイじゃ
ねえ」「来てよかった」などの声も聞けました。
もみじを手に記念写真を撮り、森林浴を楽し
みながら、肌で秋を感じることも出来ました。
稲荷山講演には樹齢200年の老カエデなど
3千本の紅葉が広がっています。

デイの敬老週間

介護員 細川奈津枝

デイサービスセンターの敬老週間を企画して
利用者さんに楽しんで頂きました。



デイの敬老週間

百歳に元気づけられ敬老日

職員が趣向を凝らした歌や踊りを披露して、
賑やかに敬老週間を祝福しました。
最長寿になられた方と米寿を迎えられた方には
表彰状を贈ってお祝いをしました。

「すてきな102才」

所長 上満佐智子

デイサービスを初めて
利用される102才の好崎さ
んです。初来所日は緊張
気味でしたが、知り合い
の方が沢山おられ安心さ
れ楽しく交流をされてい
ました。休息のお誘いも
「おしゃべりが楽しい」
とにつこり皆さんとすご
されていました。機能訓
練に参加され早速俳句を
詠まれました。

着ぶくれてリハビリ体
操ままならず

二三子



グループホームはるか便り

新年ごあいさつ

グループホームはるか 所長



西本 恵子

明けまして
おめでとう
ございます。

旧年中は大変お世話になりました。

当ホームは地域の皆さまに支えられて13年目を迎えます。ここでは重い認知症になり、自宅での暮らしがむづかしくなった方が共同生活をしてられます。

高齢者は長い「過去」を歩まれ、そして「今」を生きておられます。

私達は、利用者の皆様が淋しくないように、つらくないように「いい人生だった」と言ってもらえるような人生のお手伝いをしています。そして「ああ長生きして良かった」と思ってもらえるような地域の存在になれるよう精進して参ります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

11月6日 三味線ボランティア

介護員 平岡 喜代美

三味線ボランティアの檜巻耕一さん（平野町）が来園され達者な一人舞台を披露して下さいました。



檜巻さんの
三味線ボランティア

なかでも、津軽三味線に乗せた水戸黄門が一番の気で、利用者さんはじっと聞き入っておられました。

檜巻さんのボランティアは10年前から継続されて利用者さんも心待ちにしております。

11月26日 ギャラリーしろかわへ

介護員 西田 光輔

ギャラリーしろかわで開催中の全国かまぼこ板の絵展を見物しました。

会場には全国からよせられた作品が展示されていましたが、自分達で制作した作品を見付けて「ようやくな〜」と喜ばれました。



利用者作品を見物しました

帰途、日吉夢産地で名物うどんを完食されて、皆さんご機嫌でした。

お別れ会

介護員 村上 孝子

高岡力ネコ様が退所されることになり、お別れ会をしました。



高岡さんお別れ会

高岡さんは平成21年に入所され、私が担当させて頂きました。笑顔がよく似合う優しい方でした。ご家族も家族会の会長をして下さったりして、よくして下さいました。退所されても身体に気を付けて長生きしてほしいと願っています。

グループホーム 春の風便り

新年ごあいさつ

グループホーム春の風 所長



徳森 利弘
あけましてお
めでとうござい
ます
旧年中は皆様

方の「グループホーム春の風」
に対する一方ならぬご厚誼を賜
りまして厚く御礼申し上げます。
寒空が続いていますが天気の良い
日には利用者様と施設周辺や
海、長浜の町へ気分転換の為に
散歩に出掛けています。

出会った人やご近所の方と挨拶
を交わし、玄関先の丹精込めた
鉢植えの花を見せて頂き、育て
方などでも会話が弾みます。

「新波止公園」で釣りをされて
いる所にお邪魔して釣れたばかり
の魚を見せて頂いたりもしま
す。街路樹や道端に咲く花にも
季節の移ろいを感じ、外出のた
びに新しい発見があります。

今年も利用者様の居心地の良い、
安心安全な生活を第一に笑顔で
楽しく過ごして頂ける施設であ
るように精進して参ります。

本年もどうぞよろしくお願い
申し上げます。

11月
6日

長浜の生活文化祭

介護員 西田 春奈

長浜商店街で開催された生活文化祭に参加しまし
た。商店街ではバザーや催し物で賑わっていました。
長浜中学校の吹奏楽部も出演していて、利用者は拍
手喝采されました。

イベントのもち
まきでは、役員
さんが「どうぞ！」
と沢山のおもち
を持ってきて下
さり、地域の方
々の優しさ、温
かさにとってもハ
ッピーでした。



長高文化祭に参加

津波想定避難訓練

所長 徳森 利弘

南海トラフの津波を想定した避難訓練を長
浜消防署の立ち合いで実施しました。

消防署のお話では、長浜地区は最大2メー
トルの津波が来るとの事でした。

2階へ避難する
利用者

2メートルの津波は木造の家が流されると聞
いてびっくりしました。

また、津波はその規模によって避難場所や避
難経路を変えて避難しなければならないと話
されました。

● 新職員紹介 ●

グループホーム春の風



介護員
船津 かおり

利用者さんとじっくり向き合って
介護をしたいです。

同会の皆さんは、当ホーム開
設以降毎月1回慰問して頂き、
趣向を凝らし
た読み聞かせ
や紙芝居等を
披露して下さい
ます。
利用者の皆さ
んも毎月来て
下さるグルー
プの皆さんに
感謝されてい
ます。



読み聞かせボランティア

読み聞かせボランティア

介護員 長壁 新

読み聞かせグループ（長浜こ
ころ）代表松本繁様が訪問して
下さり多才な芸を披露して頂き
ました。

在宅支援センター春賀便り

新年いあいやつ

在宅介護支援センター春賀
訪問ケアステーション春賀
介護タクシー春賀

所長 大西 三枝



謹んで新年のお慶びを申し上げます。
旧年中は各

事業所活動にたいして温かいご支援とご協力をいただき心よりお礼申し上げます。

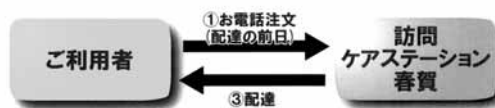
毎月実施しております地域サロン「集う場所はあるか」は、お陰をもちまして二年目を迎える事が出来ました。「また来ようや。」と地域のお元気な高齢者がサロンに行き来し、楽しく交流されております。今後たとえば、このサロンに地域の若い世代の参加があり郷土料理の調理体験を行うなどの世代間の交流が生まれると、地域の人間関係がもっと豊かになっていくものと考えます。

老いても、住み慣れた地域で和やかに暮らす。そういう暮らし方がこれからも地域で増えていくように、様々な仕組みを工夫していきたいと思えます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

● 食材や日用品の買物代行いたします。●

買い物代行サービス

- ・お店から商品を持って帰るのが重くて大変……
- ・買物に行くのに交通の便がない。……
- ・体調が優れない為に買物に行けない。……



4回/月 3,000円 (週1回) ↑ 2. Shopping (2買物代行)

オズメッセ、地域の商店やスーパーで商品を購入して、お届けする助け合いの有償サービスです。
(※一度の注文限度額は10,000円までとさせていただきます)

オズメッセさん
○○商店
スーパー△△
□□商店

高齢者の方、身体に障害をお持ちの方、介護で多忙な方等がご利用いただけます。

サポート(支援)したい方……

「買物代行支援」の活動に参加してみませんか？
事業所からご利用者宅に商品を届けるお手伝いです。
曜日や希望に応じて活動できます。
ぜひご相談ください。

支援の問合せ、相談窓口

訪問ケアステーション春賀
電話 26-1186

トピックス 総合事業とは

ケアマネージャー 中岡 越子



大州市では本年4月から介護保険が改正されて、総合事業が実施されます。

この改正に伴い軽度の介護認定者が大幅に増加することになり、軽度者のヘルパー利用とデイサービス利用は大洲市が管理することになります。

比較のお元気な高齢者は「支援の受け手」だけではなく「支え手」にもなって、介護予防等を行う事になります。いわゆる「お互い様の精神」を持つことで高齢者が住み慣れた地域で、暮らし続けられるという考え方です。

比較のお元気な高齢者は「支援の受け手」だけではなく「支え手」にもなって、介護予防等を行う事になります。いわゆる「お互い様の精神」を持つことで高齢者が住み慣れた地域で、暮らし続けられるという考え方です。

ゆねり作り

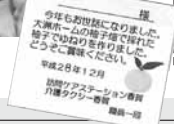
ヘルパー

祖母井ひろみ

今年も大洲ホームの柚子園で採れた柚子を使用して、ゆねり作りを行いました。ヘルパー仲間のチームワークは素晴らしく、和気あいあいの調理のもと、愛あふれる美味しいゆねりが出来上がりました。一年の感謝を込めて140食をパックに詰めて利用者様へお届けします。西山重子様にもご協力を頂きました。ありがとうございました。



ヘルパーのゆねり作り



リレー随想

「ふるさと納税」

事務員 大本 友美

近年テレビ

や雑誌で話題

のふるさと納

税。興味はあ

るもの手続きが面倒そうだ

なと思っていました。

しかし条件を満たせば確定

申告が不要ということで、初

めてふるさと納税をしてみま

した。

ふるさと納税とは自分で選

んだ自治体に寄付をすること

で、そのお礼に特産品がもら

えたり税金の控除を受けられ

たりする制度です。

インターネットを使えば寄

付する先を選ぶのも簡単で、

その自治体へ寄付金控除の申

請書を郵送すれば手続き完了

です。

今回は小林タツ子さんに

リレーします。

● 故人を偲んで ●

池田マサミ様（93才）が昨年11月に亡くなりました。

生前、池田様は毎週1回、利用者を自宅に招待して手作りのお菓子や季節の果物をふるまって下さいました。

まるで子や孫を迎えるように親切にして下さいました。

カラオケやご近所の方々との会話も利用者の心

を和ませ、癒



池田家のお接待（左から2人目）

して下さいま

した。謹んでお悔やみ申し上げます。

welcome Baby

三善会は「えひめ子育て応援企業」に認定され、ウエルカムベビーを応援しています。

後藤 榮吉（長男）▶
平成28年10月5日生



◀前田 莉空（次女）
平成28年11月10日生

編集後記

新年号をお届けします。

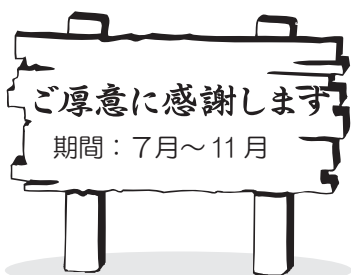
穏やかに明けて輝く初日の出

植田 勝芳

本号は晩秋から年末にかけての暮らしの一端を切り取って編集しました。

今回も多くの方々のご投稿を頂いて発刊することができました。ご協力に感謝します。

● 竹内カメ子様（伊方町）
● 山田エイ子様（内子町）
● 島谷芳房様（松前町）
● 坂口幸壽恵様（保内町）
● 高岡承子様（西予市）
● 三井謙二様（西予市）



【敬称略】

● 後藤武薫様（八多喜町）
● 上野忠夫様（菅田町）
● 鎌田リヨコ様（春賀）
● 沖美代子様（田口）
● 立正佼成会様（八幡浜市）
● 平高恵美子様（内子町）
● 池田正茂様（新谷）
● 薬師神忠男様（八幡浜市）
● 伊予銀行大洲支店様

ボランティア

● 谷本一善様（八多喜町）
● 泉美佐子様（八多喜町）
● 山本静様（東宇山）
● 立正佼成会様

【順不同】